

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 地域で一緒に暮らそう会

1.はじめに

「障がいのある人もない人も地域で一緒にあたり前に暮らさせたい」そんな親の思いから 4 人で NPO 法人を立ち上げ、そして、9 年後には社会福祉法人に移行した「地域で一緒に暮らそう会」、創立から早 4 年が過ぎました。

この間、一貫して利用者の人権を尊重するサービスの質の向上をめざして、職員共々事業運営をして来ました。さて本年 4 月 1 日より障害を理由とする「不当な差別的取扱い」及び、見えない壁を取り払う配慮（合理的配慮）の不提供を差別と規定した「障害者差別解消法」が施行され、全ての国民が障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する、社会の実現を目指すことになりました。しかし、重症心身障害児（者）のサービスの提供の取り組みは、かならずしも利用者のニーズとは合致しておらず、地域の実情によってはバラつきがあります。

また、障がい理解についても、誰しもが「町民や市民としてどんなに障害が重くてもみんな、一市民、一町民であるんだよ」との思いは、いまだ行き届いていません。

- ・たとえ、ほとんど日常、寝たままで自力では起き上がれない状態であっても・・・
- ・自分で排泄を知らせることも、処理することも出来ない状態にあっても・・・
- ・筋肉が緊張し、思うように手足を動かす事が出来なくても・・・
- ・言葉による理解や意思伝達が出来ず、声や身振りで表現するような状態であっても・・・
- ・社会生活において自分で物事を判断して決定していく事が出来ない状態であっても・・・

職員には社会福祉の主たる担い手として、本人や家族を思いやる心を持ち、その思いとする所にしっかりと身を寄せることを、まさに「人が人として生きる権利」の人権尊重のための防波堤としての勤め、常に追求する姿勢を持ち続ける様など、新たな時代に向け「法人の果す役割」を利用者に示して欲しいと、強く訴え続けてきました。

今、障害福祉を取り巻く状況が目まぐるしく変化する中、まさに職員の技術力は法人の財産だと思えます。職員が誇りをもって働き甲斐のある職場環境を目指し、自尊心がしっかりと満たされる職場づくりなど、処遇改善手当の支給内容等を随時見直しながら、働く環境等を整えてきました。

しかし、良質な福祉人材の確保や要となるリーダーの育成、職員の一人ひとりの能力に合わせた育成計画の作成など、多くの課題があります。新年度は、さらなる職員のスキルアップに力を入れなくてはなりません。その為にも思い切った経営戦略（組織改革）や判断が必要と思われれます。

また、法人経営上多大な影響を及ぼすことになる、かねてから申請中だった、障がい者に働く喜びを実感いただける訓練施設、仮称「地域サポートセンターえがお」が、やっと 3 月の年度末事業採択となり補助金の内示が出された事は、法人にとってはこの上ない喜びであります。しかし、補助金が予定の半分しか事業採択されなかった事は、大変遺憾であり、厳しい建設資金状況となりました。新年度法人経営上、戦略の立て直しが必要であります。また、新年度、社会福祉関連予算の抑制で法人経営は更に厳しさを増す事が予想されます。職員一同、しっかりと気を引き締めて、事故のない安心、安全の事業運営に務めてまいりたいと思えます。

2. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会について、次のとおり開催された。

	開催日	参加数	議案等
第1回	5月17日	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告について ・平成26年度決算報告（財務諸表）及び監査報告について ・正規職員就業規則の一部改訂について ・正規職員給与規定の一部改訂について ・準職員就業規則の一部改訂について ・準職員給与規定の一部改訂について ・役員の報酬及び費用弁済に関する規定の一部改訂について
第2回	5月23日	理事6名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告、同決算報告（第1回評議員会報告、承認事項の確認）
第3回	7月14日	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等整備事業（生活介護）見直しについて ・社会福祉施設等整備計画に伴う実施設計入札について ・事故報告について
第4回	11月3日	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉施設等整備事業（生活介護等）計画に伴う実施設計入札について ・社会福祉施設等整備事業（生活介護等）計画に伴う実施設計契約締結について ・監査報告 ・事故報告
第5回	12月25日	理事7名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・各就業規則の一部改訂について ・セキュリティ対応委託業者の見積もり合わせ結果について ・セキュリティ対応随意契約業者の日程について ・平成27年度第1回補正予算について ・寄付金について
第6回	1月18日	理事7名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第一回補正予算に対し評議委員会における承認事項の可決について ・育児、介護休暇等に関する規則の一部改訂について

第7回	3月5日	理事6名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画案について ・平成28年度予算案について ・奨学金貸与規定の制定について ・新評議員・新理事及び新監事の候補予定者について
第8回	3月5日	理事6名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画案に対し評議委員会における承認事項の可決について ・平成28年度予算案に対し評議委員会における承認事項の可決について
第9回	3月11日	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ・新理事及び新監事の候補予定者案に対し評議委員会における選任について ・新理事の選任について ・新専務理事の選任について

(2) 評議委員会について、次のとおり開催された。

	開催日	参加数	議案等
第1回	5月23日	評議員13名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告について ・平成26年度決算報告（財務諸表）及び監査報告について ・正規職員就業規則の一部改訂について ・正規職員給与規定の一部改訂について ・準職員就業規則の一部改訂について ・準職員給与規定の一部改訂について ・役員の報酬及び費用弁済に関する規定の一部改訂について ・職員互助のための「おびしん職域サポート」加入について
第2回	1月18日	評議員13名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度第一回補正予算について ・各就業規則の一部改定について
第3回	3月5日	評議員12名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業計画（案）について ・平成28年度予算（案）について ・新理事・新評議員及び新監事候補予定者について

3. 事業運営について

(1) 第二種社会福祉事業

- ・障害者福祉サービス事業の経営
- ・相談支援事業の経営

- ・移動支援事業の経営
- ・障害児通所事業の経営

(2) 公益を目的とする事業

- ・地域生活支援事業
- ・レスパイトサービス事業
- ・共生型事業
- ・訪問看護事業（休業届提出中）

(3) 平成27年度の利用状況（平成28.3.31現在）

① 18歳以上

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	利用者合計
人数	9	7	4	2	2	1	25人

※ 区分6のうち医療的ケア対象者は1名

② 18歳未満（きらきはうす）

放課後デイサービス（定員15名）・児童発達支援（定員5名）

	医療ケア	行動援護対象者	放課後デイ	発達支援	利用者合計
人数	8	3	24	1	36人

③ 18歳未満（第2発達支援センター）

放課後デイサービス（定員20名）・児童発達支援（定員18名）

	放課後デイ	発達支援	利用者合計
人数	16	39	55人

合計116名

(4) 平成27年度 事業別延べ利用者数・事業収入・人件費・人件費比率
別紙資料①を参照

4. 監事による監査の実施について

平成27年度に4回実施し、適切に実施され所要の報告がなされています。

	実施日	監査内容
第1回	5月13日	H27.1.1～H27.3.31迄の業務執行の状況及び財産の状況 H26年度決算監査

第2回	7月29日	H27.4.1～H27.6.30迄の業務執行の状況及び財産の状況
第3回	10月29日	H27.7.1～H27.9.30迄の業務執行の状況及び財産の状況
第4回	1月28日	H27.10.1～H27.12.31迄の業務執行の状況及び財産の状況

5. 平成27年度の事業計画の検証について（重点施策）

（1）経営基盤及び経営組織の強化

① 法人本部及び各事業運営機能の充実と組織の見直し

課長職・主任等を中心に各事業運営に関するケア会議等を定期的に行い、利用者等の情報を共有しながら、事業運営をおこないました。

会議開催の状況

開催日	会議名	主な議題	職員	理事
H27.4.21	放デイ・発達合同会議	・開所時間の変更と配置体制変更について ・希望休暇について ・ケース会議（7人） ・ヒヤリハット報告	10	
H27.4.21	日中・居宅会議	・職員の人事 ・ケース会議（3人）	14	
H27.4.21	ワルツ会議	・ケース会議（2人）	5	
H27.4.21	かのみん会議	・ケース会議（4人） ・常備薬以外の薬について	4	
H27.4.23	ぽこあぽこ会議	・ケース会議（5人） ・カラオケについて	5	
H27.4.28	全体会議	・障がい者の虐待について	38	
H27.5.8	放デイ・発達合同会議	・ケース会議（1人） ・ヒヤリハットについて ・27年度の担当割 ・学校訪問について	10	
H27.5.18	課長会議	・人事について ・ヒヤリハットについて ・送迎について	3	
H27.5.19	日中・居宅会議	・夏祭りについて ・ケース会議（5人）	12	
H27.5.19	ワルツ会議	・ケース会議（2人） ・行事予定について	4	
H27.6.2	全体会議	・夏祭りについて	18	1
H27.6.9	課長会議	・職員の勤務形態、利用者の利用人数について	3	2
H27.6.16	放デイ・発達合同会議	・人事移動・ケース会議（3人） ・新規利用者について	9	
H27.6.16	日中・居宅会議	・人事移動・車輜、喫煙について ・養護学校実習生について	15	
H27.6.18	ぽこあぽこ会議	・ケース会議（5人）	5	
H27.6.30	夏祭り会議	・夏祭りのゲームについて	4	
H27.7.21	日中・居宅会議	・ケアホーム会議の報告 ・夏祭りについて	16	
H27.7.21	かのみん会議	・ケース会議（4人）	4	1
H27.7.21	ワルツ会議	・ケース会議（2人）	5	
H27.8.17	課長会議	・職員の退職、人事 ・福祉車両について ・生活介護について	3	2

開催日	会議名	主な議題	職員	理事
H27. 8. 18	ケース会議	・ケース会議 (1人)	6	
H27. 8. 25	ワルツ会議	・ケース会議 (2人)	5	
H27. 8. 25	日中・居宅会議	・人事について ・その他	11	
H27. 9. 1	日中・居宅会議	・人事について ・自己紹介	18	
H27. 9. 4	全体会議	・人事について	33	3
H27. 9. 15	放デイ・発達	・ケース会議 (2人)	9	1
H27. 9. 15	常勤会議	・送迎について ・薬の管理方法	8	
H27. 9. 15	日中・居宅会議	・ケース会議 (6人) ・車輛について ・リフト講習	17	2
H27. 9. 17	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (5人)	6	
H27. 9. 22	ワルツ会議	・ケース会議 (2人)	5	
H27. 9. 24	かのん会議	・ケース会議 (4人)	5	
H27. 10. 13	全体会議	・感染症について	25	
H27. 10. 20	日中・居宅会議	・ケース会議 (1人) ・クリスマス会について	12	3
H27. 10. 20	ワルツ会議	・ケース会議 (2人)	5	
H27. 10. 20	かのん会議	・ケース会議 (4人)	4	
H27. 10. 20	放デイ・発達	・利用の受付変更について・ケース会議 (4人)	8	
H27. 10. 22	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (5人)	5	
H27. 11. 10	クリスマス会会議	・クリスマス会について	7	
H27. 11. 17	放デイ・発達	・ケース会議 (3人) ・冬休みの体制について	6	
H27. 11. 17	担当会議	・ケース会議 (2人)	6	
H27. 11. 17	日中・居宅	・クリスマス会について・ケース会議 (6人)	16	3
H27. 11. 17	かのん会議	・ケース会議 (4人)	3	
H27. 11. 20	ワルツ会議	・ワルツ入居者について・夜勤スタッフについて	5	
H27. 11. 22	ぽこあぽこ会議	・世話人の仕事再確認 ・勤務時間について	5	
H27. 12. 7	臨時会議	・クリスマス会について	2	
H27. 12. 8	日中・居宅会議	・クリスマス会について ・ケース会議 (5人) ・入浴について	16	2
H27. 12. 8	放デイ・発達	・クリスマス会・ケース会議 (1人)	5	1
H27. 12. 10	臨時会議	・クリスマス会について	7	
H27. 12. 13	臨時会議	・クリスマス会について	2	
H27. 12. 14	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (4人)	5	
H27. 12. 17	臨時会議	・クリスマス会について	5	
H27. 12. 15	かのん会議	・ケース会議 (5人)	4	
H27. 12. 15	ワルツ会議	・ケース会議 (2人)	6	
H27. 12. 15	全体会議	・安全運転講習	33	
H28. 1. 19	デイ・発達会議	・ケース会議 (13名) ・冬休みの反省	7	

開催日	会議名	主な議題	職員	理事
H28. 1. 21	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (4人)	6	
H28. 1. 26	日中・居宅会議	・機械浴について・クリスマス会の反省・ケース会議 (1人)	13	
H28. 1. 26	かのん会議	・ケース会議 (5人)	5	
H28. 1. 28	ワルツ会議	・ケース会議 (2人)	6	
H28. 2. 5	ケース会議	・ケース会議 (2人)	9	
H28. 2. 9	全体会議	・救命救急	24	
H28. 2. 16	デイ・発達会議	・ケース会議 (6人)	7	
H28. 2. 16	日中居宅会議	・ケース会議 (5人) ・	14	
H28. 2. 16	かのん会議	・ケース会議 (5人)	4	
H28. 3. 15	ワルツ会議	・ケース会議 (2人)	5	
H28. 3. 15	デイ・発達会議	・ケース会議 (4人) ・目標統一について	9	
H28. 3. 15	日中居宅会議	・ケース会議 (3人) ・4月からの組織図等	8	3
H28. 3. 16	かのん会議	・ケース会議 (5人)	4	
H28. 3. 17	ぽこあぽこ会議	・ケース会議 (4人)	5	

② 経営陣としての理事会活動の充実 (理事研修の強化)

役員研修会及び先進法人視察等を行い、社会福祉法人としての役割の認識や社会福祉法等の改正に向け、情報の収集・共有をおこないました。

日付	研修・出張先	内容	人数
H27. 6/4-6/5	道庁 (札幌市)	新規事業打合せ	理事 2名
H27. 6/18-6/19	社福) コスモス 21 (伊達市) 社福) 北海長正会 (北広島市)	知的障害、重度重複障害の方々の地域でのサポート及び災害時避難所整備について	理事 5名・評議員 1名
H27. 6/29-6/30	北海道社会福祉法人経営者協議会 (札幌市)	平成 27 年度社会福祉法人経営者セミナー	理事 1名
H27. 7/30-7/31	NPO 法人 フローレンス他 (東京都)	障がい児 (重症心身障がい児) 通所事業・医療的ケア対象者の通所について (障がい児保育園へレン)	理事 3名
H27. 9/4	大友財団助成金交付式	介護用床走行リフト他	理事 1名
H 27. 10/14-10/15	武蔵野市立 0123 吉祥寺 (東京都)	0 歳～3 歳までの保育事業について	理事 2名
H 27. 10/26-10/28	社会福祉法人経営セミナー (大阪市)	社会福祉法人を取り巻く法改正について他	理事 2名
H27. 12/6-12/7	北海道社会福祉協議会 (札幌)	平成 27 年度法人役員専門研修	理事 2名

H28.2/1-2/2	サンナプラン他（札幌市）	基本設計打合せ・新年あいさつ回り他	理事2名
H28.2/17-2/18	社会福祉法人経営者協議会（札幌）	平成27年度社会福祉法人経営者セミナー	理事1名
H28.2/29-3/1	岩見沢高等養護学校	卒業式	理事1名

（２） 法人としての理念/基本方針等の周知・徹底、規程等の遵守

① 理念/基本方針の職員への周知

研修及び会議に理事長など理事の参加により、法人の理念を冒頭あいさつに行いました。

② 関係法令及び法人規程等の遵守

正規職員就業規則等の迅速な規程の新設・改定を行いました。

理事会・評議員会の開催状況（P3～P4）の中で報告した通り、規程の改正10件
規程の制定 1件

（３） 総合的利用者支援の追求

① 利用者の権利擁護の堅持

全体会議及び研修会で障害者虐待防止法を中心に、利用者本人が孤立してかかえる苦情や差別的な取扱い、その他の人権侵害から、障害者総合支援法の目的と理念に掲げる権利を擁護し侵害された権利の救済を図ること等、利用者目線でサービス等を提供することの重要性を議論しました。年3回

② 成年後見制度のPR

福祉サービス更新時等利用者にパンフレットの配布を行いました。

③ 虐待防止 ・セクハラ防止対策の周知・啓発

職員に虐待防止法のパンフレット配布及び各事業所にパンフレットの啓示を行いました。

④ 各種行事の拡充

今年度は、各団体等に依頼し協賛金の協力及びボランティアの協力等を重点的に行いました。

参加人数P16の地域社会への貢献①で報告

また、利用者の作品を福祉祭り・藤丸の展示即売会等で販売・展示することにより法人アピールを行いました。

地域行事への参加に対しては、利用者が休日に行われるため、法人として参加することができませんでした。

⑤ 防災訓練の 実施

6/26・11/26の2回開催。夜間想定訓練（11/26）を行ったが夜間訓練には至っていません。また、火災想定訓練が中心となっているため、地震想定訓練の必要性があります。

⑥ 利用者家族との意見交換会の実施

夏祭り・クリスマス会での利用者家族の参加は増えたものの、全サービスの利用家族が集まる交流会を開催することはできませんでした。

⑦ 相談支援体制の充実

相談支援専門員のスキルアップのため、各種研修に参加しました。また、相談支援専門員の

資格を取得してから5年ごとに行われる相談支援現認研修にも2名参加しました。

(相談支援専門員 資格取得者 6名)

⑧ OT/S T等との連携により介助方法の学習や日常的介助の見直し

移乗・乗降・入浴等の支援に対し、介護リフト等の導入及び医療職等との連携により、介護労働の軽減を図りました。

(4) 新規事業（生活介護）の推進

① 平成28年度建設予定施設の実施設計の委託（国の事業採択に向け）

国庫補助金の採択のみとおしが掴めなかったため、基本設計が遅れ、実施設計まで行うことができませんでした。

② 生活介護事業の概要、建設資金、運営資金等、具体的な開設準備を進める。

北海道との事業協議等を行ったが、具体的な準備までは進めませんでした。

(5) 施設・設備の改善

ケアホーム花音・すまいるキッチンのスロープ等、木製部分の防汚剤塗装

計画どおり実施しました。(H27年11月)

(6) 人事管理の充実

① 求人对策の強化と定着率の向上

年度当初においては、新規事業を見越しての計画的職員採用となりましたが、途中より退職者補充の採用に傾きました。

② 社会福祉法人地域で一緒に暮らそう会給与制度の適正運用

人事考課（理事長面談を含む）の試行を行いました。「同一労働・同一賃金の原則」を踏まえ、給与規程の適正運用を行いました。

③ 法人を支える中堅職員の育成

研修への参加（資料② 平成27年度個別研修一覧表）

④ 職員の主体的研修の推進

自主研修の成果等の人事考課への反映は、対象者が無くできませんでした。

(7) 財産管理

① 契約の透明性の確保

入札による適正価格を追求し、透明性を確保しました。

※新規事業に係る設計監理事業委託契約（指名競争入札）

(8) 事業経営の透明性の推進

① 事業経営状況等のホームページ等による公表の充実

ホームページの管理委託を行いました。

② 会計事務所による監査を毎月及び決算期に受ける

毎月経理の集計が終わった段階で、会計事務所に試算表等の確認を行っていただきました。
平成27年度の決算に際して、帳簿・預金残高等監査業務を行っていただき、平成28年5月16日に決算時財務表の提示を受けました。

6. 財務

各事業における計画にそってそれぞれの経費を支出しました。

初めに、事業活動による収支です。

事業収入においては、予算額 220,248,427 円に対し、実績額 219,927,072 円執行率 99.9%、前年対比 100.9%となりました。

事業活動支出計は予算額 197,498,530 円に対し実績額 192,802,731 円執行率 97.6%、前年対比 106.4%となっています。執行残は 4,712,407 円となりましたが、H26 年度決算時執行残 (27,763,312 円) に比較すると、適正なる予算管理のもと、経費の支出ができたものと考えます。

今後も適切な予算配分及び補正予算等を行い予算統制の考え方を十分理解したうえで、財産管理を行います。

つぎに、施設整備等における収支です。

施設整備等補助金収入においては、予算額 3,183,456 円に対し、実績額 73,945,456 円執行率 2322.8% (70,762,000 円) と大幅な増となっています。その要因は平成 28 年 3 月 22 日「平成 27 年度障がいのある子どもの健やかな成長臨時支援事業補助金 (700,000 円)」の確定、平成 28 年 2 月 9 日「職場定着支援助成金 (762,000 円)」認定、平成 28 年 3 月 31 日新規事業の為の「施設整備補助金 (69,300,000 円)」の内示をうけ、補正予算を行うことができなかったことにあります。

施設整備等補助金支出は、予算額 20,409,576 円に対し、実績額 21,680,731 円執行率 106.2%、となりました。主な要因は、器具及備品取得支出の「職場定着支援助成金」認定に伴う、入浴用リフト (ケアホーム 2 件) 1,750,800 円 (平成 28 年 3 月 31 日確定) の購入費、日本財団より補助を受けた日産キャラバンの納車費用・登録料等の費用を補正予算に計上することができなかったことが要因となります。

今後は、補助金確定 (内示) と、資産取得日との齟齬が発生する場面が多くなることから、適切な補正予算対応が必要と考えます。

最後にその他の活動による収支については、予算管理のもと適切に処理しています。

7. 人事労務

平成 27 年度は、職員に対し、働きやすい環境整備に労力、時間を費やし規約・規程の改廃はもちろん「同一労働・同一賃金」を要に、法人との雇用形態にとらわれることなく、処遇改善手当の支給方法の随時見直し等を行いました。また、理事長面談を柱に職員間の課題・提言等に関しても「スピード感のある課題への対応」をするため、組織体制の見直しを平成 28 年度より開始します。さらに、介護現場での移乗等による身体的負担 (介護者・利用者双方) の軽減のため、入浴用リフト・移乗用リフト及び介護用器具等を、職員の意見を下に購入しました。

また、介護職員の定着及びスキルアップのため、「奨学金貸与規定 (平成 27 年 10 月 1 日施行)」

を制定し、職員が資格等を取得しやすい環境を作りました。

平成26年度同様に、利用者の自立の一助となるよう、権利擁護の啓発に努めてきました。平成28年4月より「障害者差別解消法」が施行されました。今までの障害者虐待防止法等の権利擁護等の啓発に加え、地域で暮らすために必要な「合理的配慮」を求めるため、職員研修等を含め、権利擁護等の啓発に努め、法人の信頼を高める努力を継続します。

8. キャリアアップ助成制度の活用

平成27年度は、準職員から正規職員に3名転換し、現在正職員として勤務しています。

9. 各種事業の反省

① 居宅介護・重度訪問・行動援護事業（ヘルパー派遣）

身体介護（前年対比257人減）：ケアホーム入居者の身体介護利用者1名が退去したため
通院介助（前年対比36人減）：義務教育を卒業し、岩見沢高等養護に入学のため
重度訪問介護（前年対比150人増）：12月より重度訪問対象者が1名増えたため
行動援護（前年対比132人減）：11月より行動援護対象者が1名契約解除したため
家事支援（前年対比112人増）：10月より家事支援対象者が1名増えたため

② 共同生活援助事業（グループホーム）

前年対比599人減：平成27年10月に1名退去しましたが、12月に1名、平成28年1月に1名利用開始となり、現在12名の定員中12名入居済みです。会議開催の状況にもあるように、各ホーム月1回で支援会議等を開き、利用者の情報共有を行っています。家族との信頼関係を密に、日々個別支援計画に基づき支援を行ってきました。

③ 児童発達支援・放課後等デイサービス

前年対比384人減：重症心身発達支援の延べ利用者数減については、小学校入学による2名の利用者が放課後等デイサービスに変更になったこと。放課後等デイの減の要因は週4-5日利用していた児童が、卒業により放課後等デイサービスの利用がなくなったためです。1日定員（10名）までの利用が少ない現状と、利用者自体の障害の重たさによる人員配置を行っているため、単純に利用者増を図ることができない課題があります。また、年間研修計画に基づき、担当職員の研修に力を入れてきました。特に、心の発達、愛着形成、親子関係等の研修に力を入れ、先進事業を行っている施設に研修に行き、職員の質のスキルアップに努めてきました。

音更町の委託事業の第2子ども発達支援センターの運営も順調に進み、前年対比437人増の2,472人となりました。傾向としては、早期療育の視点が進んできたことによる、発達支援の利用者増となっています。昨年度の決算で療育室の確保のための増改築を音更町と協議することとしていましたが、平成28年度中には、個別療育の教室等の増改築の計画があります。

④ 地域生活支援事業（日中一時支援・移動支援）

利用者一人ひとりが描く社会参加の実現をめざし支援してきましたが、すべての利用者が充実

した余暇活動を送ることができませんでした。この要因には、人件費比率に出ているように、市町村の福祉サービスに対する考え方・財政力に大きく左右される、福祉サービスとなっているからです。又、平成27年度当初より、日中一時の外出加算がマイナス改定となったことによる実収入の減も大きく影響しています。

学業期を終えた者にとって、サービスの安定した生活介護・就労支援等のサービスに移行することにより、より社会参加の充実がはかられ、法人としても収入の安定がはかれます。平成29年度よりサービスの移行を目指しています。

⑤ 相談支援事業

平成26年度より、積極的に相談支援事業所としての人材育成を行ってきました。他事業に比べて人件費比率(1119.06%)が極端に高くなっていますが、昨年度(2535.68%)より大幅に縮小しています。利用者にとって必要なサービスをプランニングする仕事の重要性を考えると、現状は先行投資となっています。

⑥ 短期入所支援事業

平成27年度は、延べ利用者が14名となっています。緊急時対応はありませんでしたが、利用者の兄弟姉妹の入学・卒業等の為、遠方に行かれるご家族の利用がありました。

在宅生活をおくるためには、緊急時安心して安全に短期入所を受け入れる事業所が必要です。利用者が少ない為、採算ベースには届きませんが事業継続が必要です。

⑦ 共生型事業

平成27年度は、地域住民との交流として、「きらきら夏祭り」を8月4日に開催しました。地元町内会役員の方々・大谷短大のボランティア等との交流を通し、障がいに対する理解を深めていただきました。

10. 利用者むけ開催した主な行事

利用者向けに開催した主な行事は以下の通り。

月日	内容	場所	参加利用者数
6月24日	ケアホーム合同食事会	スマイルキッチン	11人
8月4日	きらきら夏祭り	当法人	45人
7月16日	ケアホーム合同食事会	スマイルキッチン	11人
11月19日	ケアホーム温泉旅行	グランヴィリオ	10人
12月20日	クリスマス会	福祉センター	45人

11. 職員研修

月日	内容	主催	職員	理事
4/1-3	新入社員研修	当法人	5	
4/18	自閉症ってこうなんです	自閉症協会	3	
4/28	障害者虐待について解釈を深めよう	当法人	34	
5/2-4	リッカムプログラム	横浜インターナショナルスクール	1	
5/14-15	キャリアアップ初任者研修会	道社会福祉協議会	2	
5/22	支援区分認定調査員研修	北海道	1	
5/27-29	麦の子会実践研修	麦の子会	4	
5/28-30	児童養護施設函館国の子寮実践研修	函館国の子寮	2	
6/4-5	児童福祉施設職員研修・保育士	道社会福祉協議会	1	
6/10-11	新任介護職員研修	道社会福祉協議会	1	
6/17	愛着障害と発達トラウマを理解する	大谷短期大学	6	
6/20-21	発達支援協議会北海道ブロック研修	全国発達支援協議会	2	
6/23	認知心理学的学習メカニズムと障害について	当法人	29	1
6/26	避難訓練（火災想定）	当法人	15	
6/30	お花教室	当法人	10	
7/2	音更町特別支援教育ネットワーク	音更町特別支援教育振興会	1	
7/11-12	発達障害を評価して応援する	明治安田こころの健康財団	4	
7/17	第1回地域就労支援連絡会議	生活支援センター大地	1	
7/17	発達障害と不器用さ発達性協調運動障害の理解と支援	子ども発達支援センターみらい	2	
7/21-23	コモンセンスペアレンティング	麦の子会	2	
7/24	使ってみよう応用行動分析	十勝自閉症研究会	4	
7/29-30	新任介護員研修	道社会福祉協議会	2	
8/20-21	キャリアアップ研修（中堅職員コース）	道社会福祉協議会	1	
8/21-26	新版K式発達検査講習会	京都国際社会福祉センター	1	
8/25	安全運転講習・虐待防止について	当法人	27	

8/26-28	児童発達支援管理責任者研修	北海道 CM ネット	1	
8/27-28	新任施設相談員研修	道社会福祉協議会	1	
9/3-4	介護職員専門研修Ⅱ	道社会福祉協議会	1	
9/8-10	障がい児保育担当保育士等研修	道社会福祉協議会	1	
9/15	十勝障害者虐待防止・権利擁護研修会	十勝総合振興局	1	
9/15-16	介護職員専門研修Ⅰ	道社会福祉協議会	1	
9/25	強度行動障害フォローアップ研修	北海道	1	
9/29-30	キャリアアップ研修	道社会福祉協議会	1	
9/30-10/1	看護師専門研修	道社会福祉協議会	1	
10/3-4	初級障害者スポーツ指導員養成講習会	道障害者スポーツ指導協議会	1	
10/13	感染症について	当法人	25	
10/15-16	介護職員等による痰の吸引等の実施の為の研修会	日本 ALS 協会	2	
10/22-23	キャリアアップ研修（チームリーダーコース）	道社会福祉協議会	2	
10/27	社会福祉法人経営セミナー	社福）経営者協議会		2
11/26	避難訓練（夜間想定）	当法人	16	
11/10	きらきはうすと重症心身障がい児（者）との関わりについて（講師）	十勝肢体不自由児療育研究会	1	
11/17-18	キャリアアップ研修（管理職員コース）	道社会福祉協議会	1	
11/19-11/20	栄養士研修	道社会福祉協議会	1	
11/26-11/27	職場研修担当者養成研修	道社会福祉協議会	2	
12/2	第1回相談支援部会	相談支援センター	1	
12/2	第4回相談支援担当者定例会	相談支援センター	1	
12/7	法人役員・施設長専門研修	道社会福祉協議会	1	
12/7-12/9	相談支援従事者現任研修	北海道 CM ネット	1	
12/8-12/9	障がい児保育担当保育士研修	道社会福祉協議会	1	
12/15	安全運転講習・虐待防止について	当法人	32	1
12/15-16	介護職員等のたん吸引等研修会	道社会福祉協議会	1	
12/21	十勝子ども発達支援実践研修	十勝総合振興局	1	
1/12	特別な配慮を要する子どもたちへの支援	とかねっと	1	
1/13-15	相談支援従事者現任研修	北海道 CM ネット	1	
1/18-19	心理アセスメント技術研修	帯広児童相談所	1	
2/7	発達障害の理解と支援	発達障害の理解と支援講演会実行委員会	2	
2/9	救命救急講習（心肺蘇生）	当法人	23	
2/18	幕別分校の特色ある学習内容	音更町特別支援教育	1	

		振興会		
2/23	機械浴勉強会	当法人	5	
2/24	第2 発達避難訓練	当法人	6	
3/15	第30回全道肢体不自由児者福祉大会	北肢連協		1
3/24	介護リフト講習会	当法人	14	

12. 地域社会への貢献

①地域活動の推進

地域の中で私たちの事業所を認識してもらうことを第一の目的に、各種交流事業、夏祭りやクリスマス会など、法人の行事を町内会等へ案内し、参加を得てきました。また、平成26年度同様に日中活動の中で地域清掃に取り組み、地域社会の一員としての役割を自覚しています。

今後も、地域の行事に積極的に参加し地域の中での認知度をあげていきます。

月日	内容	場所	参加人数
8月8日	きらきら夏まつり	施設敷地内全部	250名
10月14日	そば打ち交流	はぐ	50名
12月19日	クリスマス会	音更福祉センター	200名

②地域福祉人材育成

夏祭り・クリスマス会の開催時に、帯広大谷短期大学生ボランティアを募り、運営に協力してもらうとともに、利用者とも触れ合うことができました。利用者との交流を主に、事業所の概要・サービス等を体験してもらい、平成28年度新入社員として1名が入社するきっかけとなりました。

更に、今年度より帯広大谷短期大学の介護実習先として2名の実習生の受け入れを行い、普段の業務を実際に体験してもらう環境を整えました。介護を目指す学生の中で認知度をあげることが人材確保の面からも必要な事だと考えます。

又、音更町の自立支援協議会の一員となり、地域の福祉関係者との懇談や各法人との交流を行っています。

③地域等からの支援

当法人への様々な支援を頂いています。

寄付金については17件301,130円、タオルおむつ、ジュースなどの物品寄付が3件と、地域の方々より多くの善意を頂いているところです。

また、今年度も交流事業の一つとして、音更蕎麦研究会の方々がそば打ち体験、高齢者大学ボランティア研究部や近隣町内会の方々もボランティアで来てくださり、さらに理事の後藤良勝氏

には施設内の除雪に関しボランティアで行ってもらっていることにも、深く感謝の意を表します。

13. 役員・職員配置

(1) 本部 理事 7 名 評議員 15 名 監事 2 名

(2) 事業

①職種別職員数

職種	正職員		準職員		嘱託職員		再任用職員		パート職員		合計	
	年度 初	年度 末	年度 初	年度 末	年度 初	年度 末	年度 初	年度 末	年度 初	年度 末	年度 初	年度 末
介護福祉士	12	11	5	4					2	2	19	17
ヘルパー 1 級			1	1							1	1
ヘルパー 2 級	1	1	3	3	1	2			3	4	8	10
保育士	7	7		1	1						8	8
看護師、言語聴覚 士 作業療法士 教員資格保有者	1	1	1		1	2			2	4	5	7
栄養士	1	1									1	1
世話人、夜間支援 員 調理員、運転手					7	8			10	10	17	18
事務員	1	1							2	2	3	3
合計	23	22	10	9	10	12	0	0	19	22	62	65

②職員採用

区分	採用年月日	職種	処遇	採用理由
処遇変更	4 月 1 日	介護福祉士	正職員	準職員から登用
処遇変更	4 月 1 日	保育士	正職員	準職員から登用
採用	4 月 1 日	介護福祉士	正職員	新規事業のため
採用	4 月 1 日	介護福祉士	正職員	新規事業のため
採用	4 月 1 日	介護福祉士	正職員	新規事業のため
採用	4 月 1 日	保育士	正職員	保育士増員
採用	4 月 1 日	保育士	正職員	保育士増員
採用	4 月 10 日	作業療法士	非常勤	新規事業のため
採用	5 月 11 日	ヘルパー 2 級	非常勤	欠員補充
採用	7 月 1 日	看護師	非常勤	看護師増員
採用	7 月 13 日	看護師	非常勤	看護師増員

採用	9月1日	世話人	非常勤	欠員補充
採用	9月1日	教員免許	非常勤	作業指導員
処遇変更	10月1日	看護師	正職員	準職員から登用
採用	10月1日	介護福祉士	準職員	障害者雇用
採用	10月1日	ヘルパー2級	嘱託職員	介護員増員
採用	10月1日	ヘルパー2級	非常勤	介護員増員
採用	11月18日	運転手・夜間支援員	非常勤	夜間支援員増員
採用	2月1日	保育士	準職員	保育士増員

③退職

区分	退職月日	職種	処遇	理由
退職	4月30日	介護福祉士	非常勤	自己都合
退職	5月7日	介護員	非常勤	自己都合
退職	5月15日	保育士	準職員	自己都合
退職	6月30日	世話人	非常勤	自己都合
退職	6月30日	介護福祉士	準職員	自己都合
退職	9月10日	介護福祉士	正職員	自己都合
退職	9月10日	看護師	非常勤	自己都合
退職	10月31日	看護師	正職員	自己都合
退職	3月31日	夜間支援員	非常勤	自己都合

14. 職員交流

日付	内容	場所	人数
5月9日	歓迎会	山の猿	46名
11月28日	観楓会	観月苑	67名

15. 平成27年度事故報告

別紙資料③